

いつもの事ですが、思いついたら計画や予備知識もなく行き当たりばったりの旅。

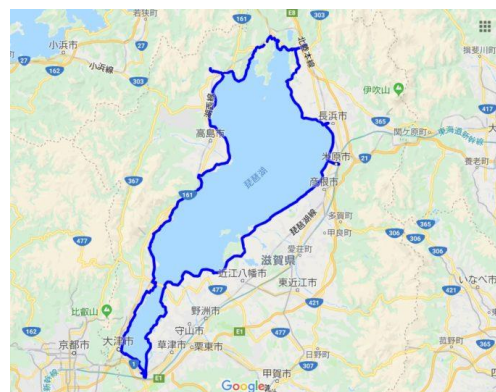
新幹線で京都まで、乗り継いで大津駅に10時20分着

自転車を組み立て大津港湖畔ここがスタート地点200kmでこ

こに戻る。距離、体力には、問題ないがいつもはテント寝袋があり、

どこでも泊まることが出来たが今回は用意していない。遠くの

山々はまだ雪に覆われている。



夜の寒さは想像できる。どうにか成るだろうとスタートまずは琵琶湖の大きさに圧倒される。

道路にはブルーのラインがあり Biwaichi のマークがありこれに沿って行けば迷うことなく一周出来るらしい。



すぐに、びわ湖毎日マラソンでなじみの瀬田の唐橋に、ここを過ぎると向い風にな

り湖は白波が立ちまるで海の様です。 琵琶湖大橋が見えた その先の公園で

休憩する。偶然ここがサイクリストの聖地のなぎさ公園だった。

写真を撮りすぐに進

む彦根城があったが

風の強い中,前に前に



びわこ大橋 遠くに雪の残る山々



私には、時間もそこそこのお金もあるのに、なぜゆっくりと旅を楽し

まないのだろうか。ひたすら湖岸を北上 道の駅みずとりステーション

で休息16時30分そろそろ宿が有るとよいのだがと思いながら

ペタルを踏み少し外れて木之本町へ見覚えのある町「奥の細道」で通った所だ。宿はなくそのまま賤ヶ岳（しずがだけ）古戦場の山道と進む。だんだんと暗くなり、ブルーラインは外れると道に迷うので宿を探すのを止めて、道沿いに宿があることを願いつつブルーラインを追っていく。トンネルが三つは灯りなどなくトンネルの中に吸い込まれそうな気持ちになる。明るい時なら風光明媚な所だろうと想像しながら進む。20時すぎ沿道にホテルがあり泊ることが出来た。まずはビールそして夕食もあった。泊った部屋は特別室ここしか空いていなかった。一人で寝るには広すぎる。

風呂に入り改めて缶ビールをゆっくりと飲む。宿を予約して行けばこんなに「ドキドキ」しなくて済むのだがこれも旅の楽しみの一つで



す。ベッドで寝られたことに感謝して明日は楽しもう。

今日の走行距離 148 km (宿を探す為に寄り道も含む)

二日目

ホテルを8時スタート、足に若干の疲れがある物の至って元気。今日は風がない湖畔の松並木を眺め

国道161に出ると湖畔からは離れ交通量が多く走りづらくなる。



白髭神社の横は狭く走りにくいこの先国道も県道もブルーラインはしっかりと分かりやすいが



信号機が多くなる。右折し琵琶湖大橋道の駅に行きお土産を買い元の道に戻る。やはり交通量が多く走りづらい

11時にスタート地点大津に着く。そのまま京都に行き観光をするつもりだったがビワイチで満足したのか？観光する



琵琶湖大橋道の駅にて

気にならず、すぐに京都より自転車たたみ新幹線で帰る。

ゆっくり観光など、出来ない性格なのか京都までの距離を含めて236kmの1泊2日

無事故で終えたことに感謝し、花粉症で目が痛く向かい風に悪戦苦闘のサイクリングの旅でした。